



# 学校だより

## 4月号

横浜市立山内小学校  
校長 佐藤 正淳

### 継承・進化 そして創造 ～令和の山内小学校を想う～

新元号発表の日、歴史と伝統のある山内小学校 第31 第校長の職を拝命いたしました、佐藤 正淳（しょうじゅん）と申します。直近6年間は、横浜市教育委員会事務局 教育政策推進課に属し、「横浜教育ビジョン2030」「第2期 及び 第3期 横浜市教育振興基本計画」の作成、並びに教職員の働き方改革の推進等に従事して参りました。“令和元年”に校長職に就いたわけですが、“平成元年”にあざみ野第二小学校で教員としてのスタートを切っており、この地との強い縁を感じます。校長1年生、まだまだ分からないことばかりですが、どうかよろしくお願いいたします。

さて、山内小学校に着任して数日が経つわけですが、とても“強く”“熱い”印象として残ったことを初めての学校だよりに記したいと思います。

#### 創立146年 地域に支えられた山内小学校

着任初日の4月1日と3日の2日間、日ごろから学校にお力添えをいただく地域の方々への挨拶まわりをさせていただきました。心に残るのは、新参者の私に対する温かなお心遣いであり、前任の臺野校長に比べ、どう考えても何の実績もない私に対する熱いエールあります。学校は、学校だけ、教職員だけで、成り立つものではありません。地域の中に学校があり、各々のご家庭の集合体が地域でもあります。みなさんの温かな思いが地域を創り、その中で温かな学校ができるのだということを再認識するとともに、皆様方の本校への熱い思いを前に、校長としての覚悟を一層強くした次第です。今後とも、本校へのご支援のほどよろしくお願いいたします。

#### “チーム山内”の力

1日目終了！ いい学校だわ。児童指導の引継ぎ体制もバッチリ。児童支援専任が本当に機能している。こういうところに時間をかけ、会議はミライムでほんとにサクサク。チーム意識、ベクトルの方向、そして物言う雰囲気と明るさ。臺野校長先生のお力です！

これは、山内小学校の初日を終え、先週まで在籍していた教育政策推進課の方々に送ったメールです。教育委員会時代にも教育長の学校訪問や教科分担制のヒアリングに山内小学校を訪れていましたが、着任しての現実、予想を遥かに超えていました。学校生活の基盤を共有し、経験の差に関わらずに同じ方向に向かう姿は、公立学校のあるべき姿とも言えます。また、持続可能な学校の在り方を探るべく、業務の効率化にも挑んでいます。学年チーム体制の基盤となる教科分担制や働き方改革の推進を進める山内小学校の更なるチャレンジにもご理解とご協力をいただければ幸いです。

今月号のタイトルにもある「継承・進化 そして創造 ～令和の山内小学校を想う～」については、保護者の皆様、地域の皆様とも多くの意見交換をさせていただきたいと考えていますが、現段階での私の思いは、次の2点です。

○子どもたちの学びを社会とつなげたいSDGsの視点に立った学びの再構築！

○“山内小スタンダード”と両輪をなす、“主体的・対話的で深い学び”の実現…学びの主役は子ども！

これまでの山内小学校の良さを最大限に継承し、より進化させるとともに、令和の時を過ごし、未来を創る子どもたちにとって最適な学びと必要な力を明らかにし、公立学校なりのアプローチを探っていきたいと考えています。今後も、学校だより等通して発信していきますので、お気づきやお考え等をお寄せいただければ嬉しいです。